

原発事故や将来の廃炉およびエネルギーの多元化への対応に貢献する 新製品開発への支援を開始します

～ 平成27年度 拠点化計画促進研究開発事業補助金 交付決定 ～

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターでは、福井県が推進するエネルギー研究開発拠点化計画（充実・強化分野）の一環として、平成24年度から「拠点化計画促進研究開発事業補助金」を実施しています。

この事業は、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、平成27年度の拠点化推進方針に位置づけられた施策である「原発事故に対応する技術開発の推進」、「エネルギーの多元化への対応」および「将来の廃炉に備えた対応」に資する県内企業等の研究開発を支援するものです。

本年度は審査の結果、平成26年度から継続する取組み5件を採択し、補助金の交付を決定しましたのでお知らせします。

記

[採択：5件（全て継続事業）]

(掲載は代表企業五十音順)

代表事業者名[所在地]	テーマ名	概要
アイテック(株) [鯖江市]	燃料電池発電機システムの開発	工事現場等における次世代の発電機の導入を図るため、低コストで耐振動性に優れた金属セパレーターを用いた燃料電池による発電機システムを開発する。
サカイオーベックス(株) 水産資材事業部 [福井市]	海洋エネルギー発電デバイスと活用方法の開発	魚の走光性を活かし、人工漁礁における集魚効果の向上を図るため、波や海流の振動で発電する発光ユニットやLEDテキスタイルを用いた集魚灯を開発する。
セーレン(株) [坂井市]	耐水性防護服の機能性向上に向けた研究開発	原発事故現場や廃止措置現場等の汚染水環境下における作業の効率化および負担軽減に対応するため、特殊柔軟不織布を用いて、耐水性および快適性に優れた防護服素材を開発する。
大研化学製造販売(株) [坂井市]	高効率太陽電池用電極ペーストの開発	太陽電池のエネルギーロスを低減するため、シリコンウエハーとの接触抵抗が低い液状の電極を用いた太陽電池の研究開発を行う。
(株)ナカテック [坂井市]	液体燃料製造プロセス最適化に関する研究	化石燃料に依存しない次世代の航空機燃料等に活用するため、木質バイオマスの熱分解により生成した水素と二酸化炭素から、触媒を用いて液体燃料を製造する技術を開発する。

(参 考) 拠点化計画促進研究開発事業補助金の概要

補助事業者	補助対象事業	補助要件	事業期間
製造業等ものづくりにより事業の展開を目指す以下の企業等 ① 県内に開発拠点となる事業所を有する企業 ② 上記①を含むグループ(グループには県内の大学を含むことができる)	「原発事故に対応する技術開発の推進 ^{※1} 」、「エネルギーの多元化への対応 ^{※2} 」および「将来の廃炉に備えた対応 ^{※1} 」に資する新製品の開発または新技術の実用化に向けた研究開発	【補助率】 補助対象経費の2/3 【補助限度額】 2,000万円/年	平成28年2月 末日まで

(例) ※1：作業用防護服、放射線遮へい防護服、放射性物質の除染・回収技術等

※2：太陽光、風力、小水力、バイオマス等の再生可能エネルギーの活用技術等

【お問い合わせ先】

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部 柏木、松田、多田
TEL：0770-24-7276(直通)